

スピーカー再生技術研究会 2021 10月25日 発表資料

大沢博多

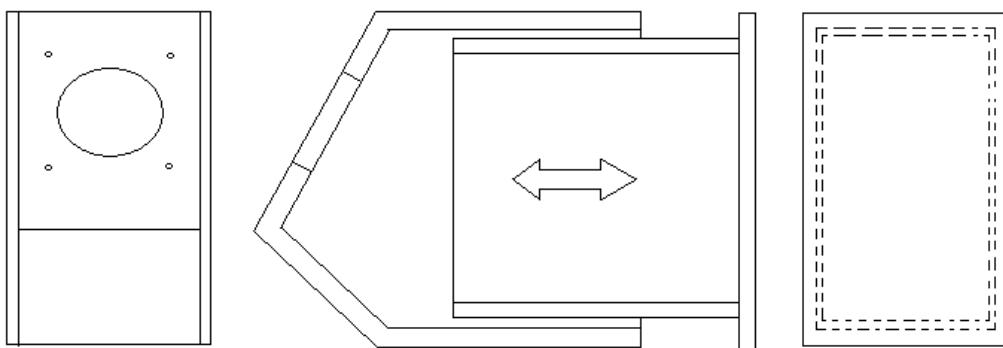
□ エンクロージャー テレスコ 4号機

昨年度オフ会発表のテレスコ 3号機に次ぐ4号機です

テレスコの基本的な概念、特徴はプロトタイプ、2~3号機と同様で

1. 2重構造による容積可変
2. 4面スリットバスレフによる低音域再生能力増強

4号機は外箱を既製の収納家具を利用してるので、正面バッフルは正方形ではなく、角度の付いた変則な取り付けとし、3号機までの上下左右対称構造を踏襲していません



内箱の前後移動で容積を可変し、ユニットの大きさ、空気室容積駆動能力に応じて調整します
外箱の容積は約13L、内箱は9Lで、2号機、3号機よりもずっと小さいです スリットの間隙は3mmです(過去の作品はすべて4mmでした)

容積可変と同時にスリットの長さも逆に増減します スリットバスレフの共振点はほとんど変化しません

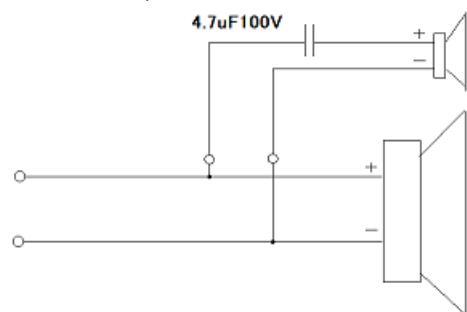
スリットは1本より細くなるのでピーク形状はブロードになり広範囲な低音域増強になります
またシングルバスレフで起こりがちな谷の発生がほとんどありません

4面スリットは後方を向くので設置環境で低音再生を背面壁、床反射を利用し演奏会場の低音楽器に近い空間放出をします 内箱を底面に立てることも可能なので時間あれば試します

今回の4号機もフロントサブバッフル式とし、バッフルごとユニット交換可能にしています

□ ジャンクワーハー使用の2 Way バッフル

12cmジャンク品のフルレンジワーハーをネットワーク無しでアンプ出力ダイレクトで使用します
ソフトドームツイーターはジャンク品のKenwoodカーオーディオ用コアキシャルからの外し物で
4.7μF100V両極Cでハイパスしています



□リファレンスに音友 Mook 付録ユニット、オンキヨー OM-OF101 も鳴らしたいと思います

ブログ「おおたんの自作オーディオ・カイト・SVX」に構想・制作過程の詳細記事あります
鈴木会長・加藤さん・石田さんのブログからリンクあります

以上